

平成 27 年 度

私立学校 中堅教員 (10 年経験者等) 研修会

[東 日 本]

実 施 案 内

主催 一般財団法人日本私学教育研究所
後援 日本私立中学高等学校連合会
後援 日本私立小学校連合会

いまや急速なグローバル化や ICT 化によって世界は劇的に変貌しつつあり、新たな未来の姿が模索され、それに応じるようにも教育界でも次々と改革が進められています。こうした中で、学校現場で中心的な役割を果たす中堅教員の先生方は、未来への模索にご自身が対応していくだけではなく、若い先生方への指導や今後を見据えた学校づくりなどの重責を担う立場にあります。このことは、先生方が未来への模索の推進者としての役割だけではなく、創立者が思いを込めた建学の精神や教育の原点といった過去や歴史を語り継ぎ、足跡を残す役割も期待されていることにほかなりません。

今年度、研修会を「10 年経験者研修会」から「中堅教員(10 年経験者等)研修会」と改称いたしました。これは、公立学校教員の 10 年経験者研修に法的義務がなくなるという流れに際しただけではなく、未来への模索と過去や歴史の足跡を残すという二つの役割を担った中堅教員の先生方により広く参加いただき、講義や討議を通じて得た学びや体験を学校現場でお役立ていただきたいとの思いを込めたからです。

こうした思いから、今年度の研修会では 4 つのテーマを設けました。

1. 〈教育界の現状と課題〉では、教育をめぐる最新の問題について学ぶとともに、日常の教育活動の中に「建学の精神」をどのように実現していくかを考えます。
2. 〈学校の危機管理〉では、いじめやクレーム対応などに対する最新の法的知識を学ぶとともに、私学教員の本来あるべき姿について考えます。
3. 〈多様なニーズをもつ生徒とのコミュニケーション〉では、カウンセリングなどの最新のスキルを体得するとともに、コミュニケーションという人間の本質的な活動の在り方について考察します。
4. 〈アクティブ・ラーニングにおける思考力・判断力・表現力〉では、次期学習指導要領に明記されることになるアクティブ・ラーニングの手法を、講義とワークショップを通じて実践的に学ぶとともに、いかに生徒の能力を引き出すかという教育の本質に迫ります。

実施機会を夏期の二回に集約し、募集定員を東西各 100 名に拡大いたしました。二日間の限られた時間ではありますが、この研修を通じて、先生方が私学教員としての役割を見つめ直し、また今後につながる私学教員間のネットワークづくりをしていただければ幸いです。多くの方々の参加をお待ちしています。

会 期 平成 27 年 7 月 29 日 (水) ~ 7 月 30 日 (木)

会 場 アルカディア市ヶ谷 (私学会館)

〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-2-25 TEL03-3261-9921

参加対象者 全国の私立小学校・中学校・高等学校・中等教育学校に在職する中堅本務教員 (10 年経験者等) および学校長が推薦する者

募集定員 100 名

【 日 程 】

研修会場:アルカディア市ヶ谷 6階「霧島」

実施時間		内 容	
7 月 29 日 (水)	10:00~10:30	受付	(研修会場 6階「霧島」前)
	10:30~11:00	開会式	
	11:00~12:10	研修 1	講義「教育界の現状と課題」 講師 中川 武夫(一般財団法人日本私学教育研究所所長)
	12:20~13:20	昼食	
	13:30~16:50	研修 2	講義「学校の危機管理」 講師 堀 切 忠 和(九段富士見法律事務所弁護士)
	17:00~18:00	研修 3	グループ討議
7 月 30 日 (木)	9:00~11:00	研修 4	講義「多様なニーズをもつ生徒とのコミュニケーション」 講師 井上 智 義(同志社大学社会学部教授)
	11:20~12:10	研修 5	講義とワークショップ I 「アクティブ・ラーニングにおける思考力・判断力・表現力」 講師 平方 邦 行(工学院大学附属中学高等学校校長) 講師 本間 勇 人(本間教育研究所所長)
	12:20~13:20	昼食	
	13:30~15:00	研修 5	講義とワークショップ II 「アクティブ・ラーニングにおける思考力・判断力・表現力」
	15:10~16:20	研修 6	グループ討議
	16:30~17:00	閉会式	

※ 運営の都合上、日程の一部が変更になる場合もありますので、予めご承知おきください。

※ 西日本(8月3日~4日 神戸市)でも、同じ内容で開催します。ご都合のよい方で参加いただけます。

■ アルカディア市ヶ谷-地図・交通案内 ■

■所要時間(平日午後の市ヶ谷駅からの平均的所要時間)

東京まで14分、新宿まで10分、新橋・汐留まで21分、渋谷まで15分、秋葉原まで9分



参加申込方法

- ① 参加申込書に必要事項を記入し、日本私学教育研究所へ郵送またはFAXでお送りください。
申込締切 平成27年7月10日(金)
※締切日前でも定員になり次第、締め切らせていただきます。

送付先・問い合わせ先

一般財団法人日本私学教育研究所 中堅教員研修係

〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-3-8 UNビル 6階

TEL 03-3222-1621 FAX 03-3222-1683

担当 高山博通 E-mail takayama@shigaku.or.jp

- ・参加申込書は、お一人一枚ご記入ください。複数名参加の場合はコピーしてください。
- ・参加申込書及び実施案内は、当研究所ホームページよりダウンロードすることもできます。

当研究所ホームページアドレス <http://www.shigaku.or.jp>

- ②参加申込書が届きましたら、参加確認証および指定払込書を学校長あてにお送りいたしますので、参加費を日本私学教育研究所あてに送金してください。

参加費: 16,000円(7/29・7/30 昼食費を含む)

- ・指定払込書の「振替払込金受領書」をもって領収書にかえさせていただきます。別途、領収書が必要な場合には、上記「中堅教員研修会係」までご連絡ください。
- ・研修会に不参加の場合、いったん納入された参加費用は全額返金できないことがあります。また返金の精算は研修会終了後となりますので、ご了承ください。

参加に際してのご注意

1. 参加確認証-参加確認証は、参加者本人が持参し、研修会当日に受付にご提示ください。前々日までにお手元に届いていない場合は、上記「中堅教員研修会係」に電話でご連絡ください。
2. 持参品-筆記用具、健康保険証 など
3. 受講中の服装-ご指導いただく先生方に失礼のない服装で受講してください。
4. 来場方法-駐車場は用意していませんので、公共交通機関をご利用ください。
5. 本研修会の研修期間中、参加者等の傷害保険には主催者として加入しておりませんのでご承知おきください。

個人情報の取り扱い

当研究所では、研修会に参加される方の個人情報は厳重に管理・保護し、その取扱いについては、法令その他の規範を尊重し、細心の注意を払っております。参加申込書にご記入いただいた個人情報は、「参加確認証」及び研修会参加のために必要な書類の送付、実施要項の名簿作成、当研究所の各種研修会開催等のご案内の送付、また何らかの理由で研修会に参加される方に連絡を要する事態が生じた場合のみに利用いたします。

送付先 日本私学教育研究所 FAX番号 03-3222-1683 ※送信状は不要です

【申込締切日：7月10日(金)】

平成27年度 中堅教員(10年経験者等)研修会 東日本 参加申込書 [121-]

- ・太線枠内に必要事項を記入、または該当する事項に○印をしてください。
- ・※の項目は、実施要項の参加者名簿に記載します。他は研究所が統計上の記録・調査に使用します。
- ・申込は一人につき一枚の申込書を使用してください。同一校から複数名でお申し込みの場合は、用紙をコピーしてご利用ください。

※都道府県名		※学校名	
学校所在地 〒			
		TEL	FAX
ふりがな ※参加者氏名		男・女 年齢()	緊急連絡先 (自宅・携帯電話番号等連絡が取れるところ)
職名 ○で囲んでください 教諭・講師(常勤・非常勤) その他()		※教科	担当科目 校務分掌(委員会)
教職経験の有無(職名を問わず) 現勤務校に()年・一年未満 それ以前に、私立学校 年・公立 年		教職以外の就業経験 有()年間・無	
現在のクラス担任 有(小・中・高 年生)・無		現在担当のクラブ活動 有()・無	
メールアドレス : 当研究所からの研修会案内等のメール配信希望の方は、メールアドレスをご記入ください。(携帯電話のメールは不可)			
一般財団法人 日本私学教育研究所 御中		平成 27 年 月 日	
上記の通り申し込みます。			
学校長氏名			印
【通信欄】			

- 参加費の送金について
- ・この申込書をお送りいただいた後、「参加確認証」と「指定払込票」を送付いたしますので、期限までに「指定払込票」を使って参加費の送金をお願いいたします。
- ・「指定払込票」の「払込金受領証」をもって領収書にかえさせていただきます。